ラックオプション

分電盤ユニット RD864-5E 施工説明書/取扱説明書

このたびは、弊社製品をご採用いただきまして誠にありがとうございます。
施工前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
また、施工後は施主様に商品説明を行ってください。
なお、保守・点検の際も活用しますので、施工説明書・取扱説明書・仕様書は
所定欄に施工業者名を記入の上、まとめて施主様にお渡しください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

- お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。
  - ⚠ 気をつけていただく内容です。
  - ⃠ してはいけない内容です。
  - ❗ 実行しなければならない内容です。

■施工上のご注意

⚠危険

- ⃠ 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。
- ❗ 本製品は必ず筐体（システムラック）内に固定してお使いください。
- ❗ 関連法規および内線規程を遵守して、正しい工事を行ってください。
- ❗ 工事・点検時は上位ブレーカを必ず切ってください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。
- ❗ 正しい配線工事をしてください。誤結線があると発火・感電・故障の原因になります。
- ❗ 配線は適合した電線・圧着端子および圧着工具を使用してください。発熱・火災のおそれがあります。
- ❗ 導電部の接続ねじは表1の適正締付トルクで確実に締付けてください。また、工事終了時に全ての導電部のねじを必ず増締めすると共に、定期的に増締めしてください。ねじがゆるんでいると発熱・火災のおそれがあります。

表1 適正締付トルク

ねじの呼び	締付トルク N・m
M5 ※1	2.0～2.5
M6	3.0～4.0
M8 ※2	5.5～7.0

※1. M5ソルダーレス端子は、1.6～2.0N・m
※2. ドライバー以外の工具で締付けるねじは8.0～13.0N・m

- アースせよ 接地線は接地端子に確実に接続してください。接地工事に不備があると感電のおそれがあります。（※ご指定のない場合、筐体アースと機器送り用アースは内部で接続されていません）

⚠注意

- ⚠ 改造等したことにより生じた事故については、一切責任を負いません。
- ⃠ 通風口がある場合は塞がないでください。故障・発熱の原因になります。また、安全のため十分な保守・点検スペースを確保してください。
- ⃠ 弱電回路は絶縁抵抗を測定しないでください。故障の原因になります。
- ⃠ 製品上面に力を加えないでください。変形・破損のおそれがあります。
- ❗ 電源・負荷の配線は相・線式・電圧・容量を確認の上、施工してください。発熱・火災・故障の原因になります。
- ❗ 線間での絶縁抵抗測定は、漏電ブレーカ、単3中性線欠相保護付ブレーカ、操作回路等、不具合の生じるおそれのある機器（回路）を外して電線間で行ってください。
- ❗ 施工時に取外した端子カバー・保護カバー・相間バリア等は必ず元の位置に戻してください。感電・短絡事故のおそれがあります。
- ❗ システムラックに実装して出荷する場合は、製品下部にL型レール（ラックオプション）を取付けてください。変形・破損のおそれがあります。
- ❗ 設置環境は下記条件でご使用ください。
  - ・周囲温度：-5～40℃
    かつ、24時間の平均値35℃以下。
  - ・標　　高：1000m以下。
  - ・相対湿度：45～80%でシステムラック内部の結露がないこと。
  - ・周囲の塵埃、煙、腐食性または可燃性の気体・蒸気、および塩分による汚染が発生しない場所。
  - ・外部に起因する振動がない場所。
  - ・ブレーカの操作が容易にできる場所。

■使用上のご注意

⚠危険

- ⃠ 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。
- ⃠ 通電中、充電部には絶対に触れないでください。感電のおそれがあります。
- ⃠ 電源コードを束ねてのご使用はお避けください。電源コードが過熱して火災の原因になります。

■使用上のご注意

⚠危険

❗	異常な発熱・臭い・煙などが発生した場合は上位ブレーカをOFFにし、速やかに専門業者へ連絡してください。	❗	安全にご使用いただくため、定期点検を電気工事業者へ依頼してください。
			本製品は必ず筐体（システムラック）内に固定してお使いください。

⚠注意

⚠	内線規程では「連続負荷を有する分岐回路の負荷容量は、その分岐回路を保護する過電流遮断器の定格電流の80%を超えないこと（勧告）」と規定されています。	⊘	ブレーカを日常のスイッチとして使用しないでください。
	熱動ー電磁式のブレーカは基準周囲温度が40℃で定格電流を設定してあります。周囲温度が異なる場合は温度補正曲線により定格電流を補正する必要があります。	❗	製品上位には適切な容量の過電流遮断器を設けてください。
	システムラック内に本製品と発熱量の多い機器を取付ける際は、周囲温度に注意してください。		

■保守・点検上のご注意

⚠危険

⊘	有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。	❗	工事・点検時は上位ブレーカを必ず切ってください。感電および短絡による人身事故のおそれがあります。
			導電部の接続ねじは、表1（P.1）の適正締付トルクの範囲内で定期的に増締めしてください。ねじがゆるんでいると発熱し、火災のおそれがあります。

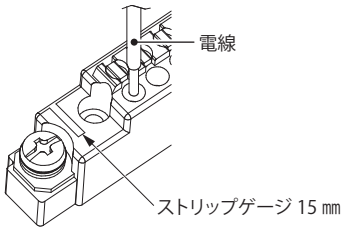
⚠注意

⚠	改造等したことにより生じた事故については、一切責任を負いません。	❗	保守・点検時に取外した端子カバー・保護カバー・相間バリア等は必ず元の位置に戻してください。感電・短絡事故のおそれがあります。
⊘	弱電回路は絶縁抵抗を測定しないでください。故障の原因になります。		線間での絶縁抵抗測定は、漏電ブレーカ、単3中性線欠相保護付ブレーカ、操作回路等、不具合の生じるおそれのある機器(回路)を外して電線間で行ってください。
	製品上面に力を加えないでください。変形・破損のおそれがあります。		ブレーカが自動的に遮断した場合は、原因を取除いてからハンドルをONにしてください。感電や火災のおそれがあります。

■アース端子への電線接続方法

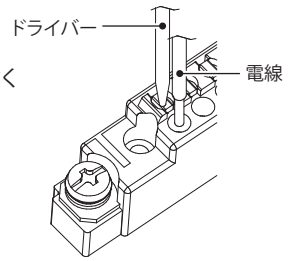
接続

奥まで差込む
φ1.6　φ2



取外し

ドライバーで押して電線を引抜く



付属品	分電盤ユニット施工説明書/取扱説明書（本紙） プチスリム搭載分電盤施工説明書 プチスリム取扱説明書　　各1部

施工業者名	
TEL	施工年月日　　年　　月　　日

警告表示がかすれたり、破損した場合は、警告ラベルの発注をお願いします。
仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は2025年9月現在のものです。

B966994001

NITO 日東工業株式会社

© NITTO KOGYO CORPORATION

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地
お客様相談室／TEL（0561）64-0152
http://www.nito.co.jp